

【 NPO 法人ふぐ食応援大使の会の理念 】

食のグローバル化が進む今日、様々な料理が影響し合い変化していく中で、和食が無形文化遺産に登録された今、ふぐ食の未来を考えると時が来ています。

ふぐ食文化も現在の形で継承・発展させていくことは困難な時代となり、これからは料理業界の垣根を越えて、様々な形でふぐが活用されることが大切です。

ふぐ資源が豊富な日本で料理ジャンルを問わず、ふぐ食の裾野を広げることが食文化の発展に繋がり、世界へふぐ食文化を広めるムーブメントになります。

私たちは様々な業界の人々と文化交流を推進し、技術研究並びに人材育成を行い、ふぐ食の普及活動を通して、ふぐ食文化を支える地産地消および食育を応援していきます。

【 事業概要(活動内容) 】

- ◆ 料理ジャンルを問わない、新しいふぐ料理を発掘するコンテストの開催
- ◆ ふぐ処理者の資格の取得を目的とした料理人教育事業
- ◆ ふぐ食応援大使及びふぐ食応援サポーター制度の推進事業
- ◆ ふぐ食文化を伝える食育に関する事業
- ◆ 生産者の資源保護の取組みや地産地消の支援に繋がる広報活動

【 設立の経緯 】

(一社)全国ふぐ連盟は全国各地でふぐの取扱い資格の試験制度を支え、講習会を通して人材育成を行ってきました。時代の変化につれて業界では、資格者の高齢化や後継者不足により、ふぐ食文化の担い手が減少しています。

また、長期のデフレ経済により、高級イメージのふぐ食は敬遠され、食のグローバル化やカジュアル化が進む今日、若い世代を中心にふぐ食離れが進行しているため、ふぐ食の国内需要が減少していることも深刻です。

これらの構造問題を改善するためには、ふぐ食を普及させる人材が必要です。料理業界の垣根を越えて、ふぐ食を支えてもらうことが、ふぐ食文化の裾野を広げ、世界へ日本のふぐ食文化を広めるムーブメントになります。

そのような想いを抱えた(一社)全国ふぐ連盟の有志たちが集まり、NPO法人ふぐ食応援大使の会は設立されました。